

# つなまち

No.170

2008.4.18 APRIL



外丸小学校入学式(4名)



三箇小学校入学式(3名)



津南原小学校入学式(2名)



中津小学校入学式(10名)



津南小学校入学式(48名)

み～んな  
ピカピカの1年生



芦ヶ崎小学校入学式(11名)



上郷小学校入学式(11名)

## 3月定例会:3/3～

55億600万円「一般会計新年度予算案可決」	②
町長施政方針	③
平成20年度 施政方針・予算質疑	④
一般質問(多方面からの議論)	⑩
条例改正・改正	⑬
シリーズ私もひと言	⑳



**町長施政方針**

本年も自律（立）に向けて、町民と協働しながら、また事務事業の更なる見直しをしながら町政の運営に努めてまいります。

本年4月からグリーンツーリズム、森林セラピー等の担当窓口を一本化し、定住対策、交流対策事業等のより機能的、効果的実施に努め、地域の活性化対策に資したいことから地域振興課内に室を設けることと致しました。

更に、20年度「健康づくり推進の町」を宣言いたしますが、町民の健康長寿日本一を目指し、各種事業の取り組みをし、広く町内外にアピールすることとしております。

また、昨年から3ヵ年計画により実施してまいりました「広報無線の更新事業」は、町民への行政情報サービスや災害等緊急提供等いずれも早急な完了が望まれますことから、完了年次を1年前倒しし、今年度竣工することと致しました。

なお、栄村との広域連携では、両町村民にとってより利便性が向上し、また双方にとってより有益で行政効果が高められる施策をと、昨春より両町職員による「津南町、栄村広域ネットワーク」を立ち上げ検討してまいりました。その第1次提案が昨年末にありました。20年度より対応してまいることとしておりますし、更に新年度以降も引き続き第2次提言に向けて検討することとしております。

以上いくつかの主な施策を20年度の柱として、町民がより安心して、健康で生きがいを感じながら過ごせる町づくりに向けて一層の努力を傾注してまいりますので、皆様の更なるご理解とご協力を切にお願いし、所信の表明と致します。

**特別会計**  
**55億7,316万円**

前年度対比22.44%の減

会計別	予算額	前年比(%)
国保	10億7,260万2千円	▲6.20
老人保健	1億5,311万4千円	▲90.64
後期高齢	1億3,689万1千円	新規
介護保険	12億 546万円	15.23
簡易水道	1億1,939万8千円	▲13.73
下水道事業	6億3,122万8千円	▲33.87
農業排水	2億7,824万円	▲0.20
病院事業	19億7,622万6千円	▲0.60
合計	55億7,316万円	

**後期高齢者医療 老人保健制度から後期高齢者医療制度へ移行**

平成20年4月1日から老人保健制度に代わり、75歳以上のすべての方、一定の障害のある65歳から74歳までの方を対象とした、後期高齢者医療制度へと移行することとなり、老人保健特別会計が大幅減となりましたがその分後期高齢者医療特別会計として新たな予算として計上しました。

運営は「新潟県後期高齢者医療広域連合」が行い、広域連合には県内すべての市町村

**介護 地域密着型介護サービスの充実**

介護予防の充実、相談、支援、虐待の防止など総合的支援、保険給付保険者負担軽減を考慮した予算編成です。

対前年度比15・23%増の12億546万円の予算です。

**下水道 管渠布設事業完了**

下水道事業は管渠布設工事等が終了し、終末処理場工事等

**病院 糖尿病専門外来開設**

病院事業会計は一般会計より1億1千万円の運営費補助金と医療機器整備等として2,232万7千円を繰り入れ、事業費は前年度比0・6%減の19億7,622万6千円を計画しています。



こんにちは赤ちゃん

また、本年度の税法改正で個人住民税の寄附金控除制度改正が見込まれます。いわゆる「ふるさと納税」です。これを機に「ふるさと支援まちづくり寄附条例」を制定し、津南町のまちづくりを積極的に都市部の方々に発信し、ご寄附いただけるように取り組みます。

また、本年度の税法改正で個人住民税の寄附金控除制度改正が見込まれます。いわゆる「ふるさと納税」です。これを機に「ふるさと支援まちづくり寄附条例」を制定し、津南町のまちづくりを積極的に都市部の方々に発信し、ご寄附いただけるように取り組みます。

**まちづくり 町民提案事業**

町づくりに町民の積極的関わり事業としてスタート2年目、津南の食文化調査資料収集、フリークライミング設置、ツリークライミング施設設備に275万円を計上しました。

**中魚沼丘陵南線 全線開通**

広域基幹林道「中魚沼丘陵南線」が開削着工から21年目で全線開通いたします。

**こんにちは赤ちゃん事業**

「こんにちは赤ちゃん」として助産師さんによる訪問事業に130万4千円計上し、少子化対策と心のケアにあたります。

**感染予防の取り組みと妊婦健診費用助成**

乳幼児、学童のインフルエンザ予防接種の補助と妊婦健診補助を2回から5回に拡充します。

**平成20年度予算**  
**一般会計**  
**55億600万円**  
(前年比0・61%減)

**町税、前年度比 0・1%減**

平成20年3月定例会が、3月3日から26日までの会期で開催され、町長の施政方針、13名の一般質問、条例改正と平成19年度補正予算、20年度一般会計、特別会計の当初予算、請願3件、陳情3件、議員発議3件を審議し、原案通り可決しました。

一般会計予算は55億600万円、前年度比0・61%減となります。

町税は、法人町民税において、東電の原発休止の影響を見込み、19年度決算見込みの87%です。その他の町税は、大規模な税法改正もなく、町税全体で前年度比ほぼ横ばいの総額11億3,855万円の計上です。

地方譲与税は自動車重量譲与税、地方道路譲与税で8,444万円、地方交付税は26億8,000万円の計上となります。

広報無線更新事業を1年前倒しして20年度竣工と町内での携帯電話不感知地域解消中継局設置として、1億3,812万円を計上しました。

地域活性化対策として交流事業の推進を図ります。恵まれた自然と心豊かな町民が都市と農村交流を、グリーンツーリズム推進室開設でプロジェクト、全国小学校の農村交流と団塊世代の移住受け入れを行います。

8,625万円、財政調整基金から3,372万円、合計で1億2,003万円となります。

**広報無線の更新と携帯電話不感知解消対策**

広報無線更新事業を1年前倒しして20年度竣工と町内での携帯電話不感知地域解消中継局設置として、1億3,812万円を計上しました。

**定住対策、交流対策 推進で地域活性化を**

地域活性化対策として交流事業の推進を図ります。恵まれた自然と心豊かな町民が都市と農村交流を、グリーンツーリズム推進室開設でプロジェクト、全国小学校の農村交流と団塊世代の移住受け入れを行います。

# 自律4年目の

# 施政方針・予算を問う



## 福祉センター建設方法の 選択肢は最善か

大平謙一 議員

**問** 施工は業者組合が旧町公民館を町から100万円で購入し、社会福祉協議会に貸し付け、町が同社協に補助する方法ですが、町が施工し同社協で使用する方法もある。なぜ業者委託なのですか。

**町長** 該当する補助金、起債できる事業もなく財政運営上有利な処置。年580万、10年間は建設費、利子から算出、10年後は契約し直す予定。

## 目指す長寿日本一の町 更に自給率日本一を!

滝沢茂光 議員

**問** 「健康づくり推進の町」宣言は大いに町内外に誇れる事、一歩踏み出すなら段丘が生み出す小水力発電も可能、更に二歩三歩進め、自給率日本一を目指し全国から注目される町づくりをし移住、定住の促進に繋げたらどうか。

**町長** 町民自ら津南町に自信と誇りを持つ事が重要、皆様の提言を頂きながら、町づくりに繋げてまいりたい。

## 行政改革推進で 地方応援といえるのか

藤ノ木浩子 議員

**問** 地方応援プログラムは、行政改革がいかに行き届いたか、普通交付税を算定するしくみだ。これが町を応援するものなのか。

**町長** 行政指標が全国平均水準を上まわった場合に交付税に反映するしくみは納得できない。住民生活が守られるよう地方交付税の充実、機能回復を図って頂く事が課題だ。

## 自律に向けての 町民との協働とは

藤木正喜 議員

**問** 町民が安全で安心して暮らせる町づくりを最優先と言われるが、行政側との間に壁はないか。

**町長** 役場職員は町民への奉仕者であるので、お気づきの点があったらいつでも窓口で相談していただきたいと思います。そして一緒に議論し解決できるよう努力したいと思っています。

## グリーンツーリズム 推進室の前身は

草津 進 議員

**問** 定住対策、交流支援の進め方と農山漁村交流、定住化促進プロジェクト立ち上げについての具体策は。

**町長** 若者から団塊の世代に至るまで積極的な取り組みを図り、地域経済活動の向上に努める。今冬、津南町の民間主導で定住対策委員会を立ち上げていただいた。今後町との連携を密に準備を進める。

## 津南醸造に 町の支援を

根津勝幸 議員

**問** 町に農協と同等の支援を願えないか。また政策上の失敗だったのではないか。

**町長** 本町の産業振興上きわめて大事な事業である。今後販路拡大等の支援は当然であり、継続していかねければならない。

**副町長** 設立理念は自らの米で酒を作り、米の高付加価値化を図る目的であるので、失敗とは言えない。

## 建設産業と 町づくりについて

高橋孝男 議員

**問** 国・県・町道改良の促進、信濃川の宮野原橋下流の早期完全整備と国交省直轄河川への編入に努力されたい。

**町長** 国道405号旭町歩道設置調査等、早期に結果が出るよう努力し、信濃川の直轄編入は流域町民の安全のため、今度、千曲川信濃川直轄河川連絡協会会長森岡市長からも協力を得ている。早目に結果を出したい。仕事づくりに森林、林道整備に務める。

## 道路特定財源を 一般財源化すべきだ

大口 武 議員

**問** 道路特定財源は地方の裁量で使えるよう、一般財源にしてこそ住民の暮らしを支える税金の使い方、地域の真の活性化ができる。

**町長** 道路整備の財源を担保されなければ、難しい。

**問** 暫定税率、上乗せ廃止でも交付税増になる。

**副町長** 道路関係3税は、基準財政収入額に算定されており減少分は交付税増になるが、20年度は財源が難しい。



津南産五百万石で2部門受賞



若い者には負けんぞ!!



地方の道路整備の遅れが心配される旭町通り

20年度

# 新年度新たな政策は

一般会計予算と特別会計に対する自由質疑を一部掲載します。

## 一般会計

### 町税の滞納額は

**問** 町民税、固定資産税、軽自動車税の滞納額はどのくらいか、また滞納整理はどのようになっているのか。

**税務町民課長** 18年度は3,400万円、19年度は住民税が10%になってから概ね1.3倍くらいの滞納になっている。滞納整理については、昼夜訪問したり、納税相談を行って

### さわやか応援団長とは

**問** 若い先生をサポートする事業内容について何う。

**教育次長** 平成19年度より始めた事業で、2年目以降6年未満の先生に町単独で校長経験者から1名さわやか応援団長として、子供との対応などに助言をして頂いている。

### あの施設は今

**問** 所沢ふれあいセンターには宿泊施設もあり、グリーンツーリズム等の関連からもあの施設を起点として活動すべきと考えるが、今どのように機能しているのか。

**地域振興課長** 一時夜間も常駐した経緯もあるが、現在はこぶし団地の皆さんに日中だけの運営をお願いしている。夜間については保安面からも閉鎖しているが、当初より活用方法は変わっていないので今後検討したい。

## 特別会計

### 下水道会計

**問** 下水処理には維持費がかかるのだが、どうしたらつなぎこみの促進が図られ使用料の増が見込まれるのか。

**建設課長** 使用料収入で事業を賄うのが普通なのであり、国、県からも努力せよと言われている。各戸におかれてつなぎこみの促進をお願いしたい。

**問** 終末処理場の工事は本年度が最後なのか。

**建設課長** 処理槽の第3系列の工事であり、電気設備と機械設備が主なもので21年度までかかる。第4系列については規模は小さいのであるが、つなぎこみの状況をみて検討する。



マウンテンパークでも大勢の役員が要請される

### 新しい事業

**問** 移住・交流業務等委託とグリーンツーリズムの関連は

**地域振興課長** グリーンツーリズム推進室を課内に設け移住交流業務と合わせ農業体験、森林セラピー等交流活動に取り組み。これを外に向けての発信として魅力あるホームページの作成を委託するものである。

### トキめき国体開催

**問** 21年2月にマウンテンパーク津南でトキめき国体のバイアスロン公開競技が行われるが経済効果はあるのか。

**教育次長** 県の補助があり経費として約6,000万円である。経費全てということはないが、出来る限り町内にお願したい。選手、監督、役員、一般客合わせて300人くらいの宿泊があればと思う。

### 簡易水道会計

**問** 水質検査事務委託費に1,021万4千円が計上されているが、町内何箇所なのか、また業者は町内なのか。

**建設課長** 町営水道の配水地が30箇所以上あり、このそれぞれについて定期的な検査と年数回50項目からの検査があり、業者は国の認定が必要であり、委託は新潟の業者である。

### 病院会計

**問** 19年度末で欠損累計11億7,000万円、減価償却の累計額が12億900万円、20年度の償却見込みとして1億3,500万円が新たに。仮に19年度並みでも債務超過にならないが、債務超過はギリギリにきていると思われるがどう考えるか。

**副町長** 累計はあるが総資産との関連からみると現在の段階では債務超過にはならない。



処理能力が余っている状態では困る終末処理場

### 職員の人事交流を

**問** 職員の啓発予算が計上されているが、今後県との人事交流も大切と考えるがいかが

**副町長** 過去には新採用職員を民間に派遣したこともある。現在は自治大学への派遣研修に力を入れており、そこでの他職員との交流もある。人事交流は重要と認識している。

### 水力発電所所在地としての収入は

**問** 電源立地交付金(4,500万円)が平成22年に切れるが次なる策をお考えか。

**副町長** 時限立法であり、昨年より全国組織の中で継続の運動をしている。

### 他県からの若者に住む家はあるのか

**問** 他県から就職してきた人に若者定住対策としてアパートの空き家調査をして欲しい。

**総務課長** 使い方にもいろいろあり、把握に時間もかかる。今後新たな推進室で調査したい。



1年 平成20年度  
前倒し

# 広報無線竣工

# 情報サービス!

平成20年度  
一般会計、特別会計に対する  
討論を掲載します。



津南病院会計窓口



## 後期高齢者 医療特別会計

反対討論

藤ノ木浩子

75歳以上を一律後期高齢者と決めつけ、別建ての医療保険に加入させ、受けられる医療を制限することで医療費を抑えようとする皆保険制度は

世界に例がない差別医療制度である。保険料の年金からの天引きや健康診査を「努力義務」とし、法律上対象外にするなどひどい。実施の中止撤回を。



## 病院事業会計



多岐にわたる医療ニーズが求められる津南病院

賛成討論

藤ノ木浩子

医療現場で救急車の受け入れ病院が無いなどの事態があるなか、国の社会保障費抑制路線はさらに、療養病床削減、公立病院の再編化や財政健全化法の適用で、病院経営見直しに追い込もうとしている。医療改善から地域医療を守り津南病院を守るために、町民にも知らせ運動する事が重要



## 一般会計

賛成討論

草津 進

「町政は町民を幸せにするシステムである」を念頭に自律津南町の動きが見えてきた。少子高齢化が進む中で、まず財源の確保が大事だ。地域活性化対策、定住化対策等をつにし、グリーンツーリズム推進室を設け、民間との協調で取り組む姿勢が見える。交流人口の増に期待する。

賛成討論

根津 勝幸

定住、交流両対策窓口は、待ちの姿勢から出向き型へと変身されたい。「ふるさと支援まちづくり寄附条例」は町内外への発信が重要。早めの対応を願う。昨年比わずかな減少であるが、将来に向けての大きなエネルギーが詰められた予算である。精いっぱい事業執行に期待し、賛成とする。



大自然の再認識も大事なこと



交流人口増に期待



## 介護保険会計

反対討論

藤ノ木浩子

このままでは保険料を払い続けても施設利用に何年も待たねばならない。利用者は食費、居住費の負担増に大変苦しんでいる。福祉用具の貸与や新予防給付で軽度者の介護サービス取り上げがすすめられた。これでは負担だけが増えサービスが利用できない制度だ。国庫負担引き上げと保険料は応能負担に。



更なる介護サービスの充実を

草津 進議員

# 津南原・三箇保育園の跡地利用は

町長.. 介護サービス事業所の活用で検討中

## 町有財産の有効活用と 利用方法を

問 津南原保育園、三箇保育園が閉園となり地域としては寂しい現状である。跡地利用については、どのように考えているか。

町長 三箇保育園については介護サービス事業所で活用方法策について検討していく。

津南原保育園は現場を見ていただいた団体もあり、現在具体化していない。引き続き努力していく。

問 旧農政局、旧東北電力の跡地(建物)の使用と今後の利用目的と方針は。

町長 両施設とも、ほとんど遺跡

の集荷や整理、保管場所として使用されている。今までとおりの活用とさせていたたく。

## 中津川運動公園の 早期着工と完成は

問 大倉トンネルの進捗状況と運動公園予定地に掘削土は、まだ必要なのか。

町長 トンネル延長885mのうち掘削延長は620mが終わった。まだ残り265mの残土が発生し運動公園へ運ぶこととなる。

問 400mトラックと芝の総合グラウンドの考えは。

町長 400mトラックの整備は、陸上関係者から要望がでてい



津南原(上)・三箇(下)保育園舎の活用は

高橋 孝男 議員

# 人口減少と若者の定住促進について

町長.. 農水省関連でスタートを

## 若者の職場・定住の 促進

問 人口減少は緊急の課題であり、若者の定住等計画から本年が中間年度で計画に対する実行等はどうか。

町長 町のありようから、少子化等人口問題は厳しい状況である。若者の雇用定住を含め、農林省大臣官房、また国会議員にも要請している。具体的公表できる段階でないが真剣に取り組んでいる。

本年度は推進室を設け、定住促進、グリーンツーリズム等から、空家実態調査等も実施する。

問 町の公有財産が各種あるが、その実態について一例として御陣荘の貸付料、貸付期間、用地の所有者について。

## 町の公有財産貸付の 実態はどうか

副町長 平成十二年から農協が営業している。用地は現在農協が所有している。建物は農協に無料で貸し付けている。理由は農協が



無償譲渡される御陣荘

1億円以上の設備投資を行い、財産の、持分は農協に帰属し貸付料を徴する状況にない。このまま町が所有権を持っていくと、今後の修繕等にも町の予算を必要とするため、平成二十年に無償譲渡とする。

大平 謙一 議員

# 下水道継込みは町をあげて推進すべき

副町長.. 維持管理費は使用料で賄いたい

## 289億円の大工事 活用で環境改善を

問 下水道工事が完工しようとしている。現在の継込み率は。また、継込みが進まない理由は何か。工事費が高いと思うが安くできないのか。又、工事費総額と償還は。

町長 現在の継込み率は特環が55.6%、農排は77.3%である。継込みに関するアンケートでは、工事費が高いが一番であった。数戸共同で発注し工事費を削減した例もある。工事費は総額で289億4千万円になり、起債は30年償還が交付税措置が7割程度ある。継込み推進により維持管理費を使用料で賄えるようにしたい。

## 町の入札、落札率 高い改善策は

問 町は入札業務を一元化し効率を上げると言ってきたが現在の入札の状況は。

町長 予定価格に対する契約額の割合は年々減少している。落札率については、平均で95%前後で妥



終末処理場 本管工事は完成したが

吉野 徹 議員

# 行政改革は町民の立場で

町長.. できる限り進めたい

## 基本構想として住民参加型の 振興計画続行の なかで何う

問 事務事業評価システムの導入について。

町長 住民のニーズに応えるよう、5段階評価で取り組み事務事業推進を図っている。

問 町行政職員の自己評価システムについて。

町長 職員は目標と理念を共通認識とし、町民のための政策を進めている。新たな評価システム導入は考えていない。

問 地域経済の振興策である住宅リフォーム助成制度と小規模公共工事登録制度導入について。

町長 高齢者住宅、要介護者住宅等弱者世帯について制度化して取り組んでいるが、健常者住宅における公金補助は無理と思う。小規模工事者登録は、現状を踏まえ進めている。

問 子どもたちの養育費(教育ローン)の利子補給制度の創設は。



町民のため日々がんばっている職員

町長 義務教育外の公的助成は行政の範囲を超えるものと思う。

問 町観光専属職員の配置について。

町長 観光協会を中心に新たな観光振興に取り組んでおり素晴らしい津南をPRできるものと思う。専属職員の配置は今後の課題である。

河田 強一 議員

# 町内の交通体系の見直しを

町長…使い勝手の良いシステムを目指し検討

## 交通手段を持たない方々の足の確保を

問 町内で公共交通機関が走っていない集落が約17集落くらいある。交通手段を持たない方々の足の確保を早急に改善願いたい。  
町中心部まででなく、地域の中心部のバス停までの輸送は考えられないか。

町長 現在、第3期自律推進チームのなかの生活交通チームで、町民代表と昨年7月から現状交通体系の問題点と今後の方向性について議論をしている。  
検討方針や方向性については①特区も考慮しながら現行法令を尊重する。  
②国県補助制度を活用する。  
③スクールバスの運行や学校を現状と合わせる。  
④現行予算の範囲のなかで使い勝手の良いものにする。

以上、4点を原則として議論致している。3月中には報告書をまとめた目としてしている。  
公共バス、ひまわりバス、スクールバスなどの生活交通について、より使い勝手の良いシステムを目指して引き続き検討していかねばならない。

総務課長 昨年、ひまわりバス利用者の方々から、この質問のようなご意見があった。  
考え方はわかるし、その辺の工夫は今一度する必要があると思っ



高齢者の足の確保を

根津 勝幸 議員

# 「学期制20年度で対応できるのか

教育長…学校には正式に伝えてある

## 関係者に一刻も早い対応を

問 平成21年4月より二学期制が導入されるが、教育委員会は学校、PTA、児童、生徒への啓発を各学校に任せるようであるが、20年度内だけで啓発期間として対応できるのか。また、保護者は一刻も早い情報を求めているので、関係者の連携を早めに。  
教育長 18年4月に教育委員会で20年度から正式導入と決定した。翌5月の校長会で校内体制を整備しながら児童、父兄に啓発をお願いした。一年間の凍結で中断はしたが数年来、準備してきた課題を次年度から実施するという考えである。

## 増加した授業数をどのように使うのか。

問 増加時数を使う裁量はどこにあるのか。  
教育長 二学期制対応委員会など校内体制をしっかりと啓発し、時数は学校で自由に使って欲しい。



2学期制導入によりどう変わる津南の教育

伊林 康男 議員

# 「なごもん」をどう検証するのか

町長…さらに多くの入館者、実習体験者を

## 農と縄文の体験実習館について

問 多額な建設費が投じられた「なごもん」であるが、入場者数、体験実習者数が伸びないが、どう検証するのか。  
教育長 体験実習館が開館して四年目になる。1万3千人程度の入館者数であり、体験実習にも2千人から参加をいただいている。近隣同種の博物館等と比較しても劣っていない。交流人口を増やし、来館者を多くするよう新たなメニューを考える必要がある、観光協会で行っているPRのなかに、日常生活では体験できない物づくりができることと、体験して良かった喜びを組み入れていくことが必要であり、今後もさらに、入館者数を増やすべく努力していく。

教育長 社会教育施設であるが、当然に観光資源として位置付けていかねばと考えている。したがって、交流人口を増加させるための施設として観光面からも魅力ある整備も必要となってくる。課題としては敷地内に水が無いことである。種々の施設に水は必要である。

問 社会的教育施設として建設されたものであるが、観光資源での視点も重要と思われるが、  
教育長 現在、第3期自律推進チームのなかの生活交通チームで、町民代表と昨年7月から現状交通体系の問題点と今後の方向性について議論をしている。  
検討方針や方向性については①特区も考慮しながら現行法令を尊重する。  
②国県補助制度を活用する。  
③スクールバスの運行や学校を現状と合わせる。  
④現行予算の範囲のなかで使い勝手の良いものにする。

## 今後の機能的充実をどう図るか

問 社会的教育施設として建設されたものであるが、観光資源での視点も重要と思われるが、



日常では体験できない実習を

藤木 正喜 議員

# 津南町で新しい産業創設を

町長…水力発電による新財源をどう確保していくか今後の課題

## 小水力発電計画について

問 津南町はハイドロパレー計画（自家消費型水力発電）を調査・報告しているが、今後の小規模水力発電計画は。  
町長 私は、県の水力発電所在市町村協議会の会長で全国水力発電所在市町村協議会の副会長を仰せつかっている。水力発電のクリーンエネルギーを全国に供給している町として、電源立地地域対策交付金も年間4、500万円頂いている。しかし、この交付金も22年で打ち切りのなか、新財源をどう確保していくのか今後の課題である。



小水力発電で新しい財源を

問 栄村との連携による木質系バイオマス発電の構想は。  
町長 栄村との連携はさまざまな点でやっている。活性化対策として、充分理解するなか、栄村、国との関わりを詰めていかなければ

## バイオマス発電の構想について

問 自治体やNPOを中心とした町づくりの協議会などの設立は。  
町長 行政としても当然のこととして協力してゆく考えである。共に、協働の歩みを一層進めていく所存である。

## 町づくり協議会の設立

問 自治体やNPOを中心とした町づくりの協議会などの設立は。  
町長 行政としても当然のこととして協力してゆく考えである。共に、協働の歩みを一層進めていく所存である。

半戸 哲郎 議員

# 「貫つなぎ」の細かい子育て支援対策を

町長…保育環境の充実に努力している

## 津南町の少子化対策は

**問** 若者が定住できる町づくりについて積極的な対策を考えているのか。

**町長** 4月からグリーンツーリズム推進室を設け都市と農村の交流を通し定住対策に対応する。各種の環境整備に取組み若者にとって魅力もてる町づくりを考えている。

**問** 当町では育児休暇の取りにくい現状において、子育て支援に対する啓発活動と父親も育児に参画できる環境をどのように整備するのか。

**町長** 国においては、子育て応援プランによりさまざまな支援策を講じている。当町においてはハローワー



3人だけの卒園式(将来に不安)

クでの色々な会合において子育て支援をお願いをしている。しかしながら、子育ては母親の役目という考えをもっている人がまだ多く男女が共に仕事と家庭を両立できるように職場づくりと事業主の皆様からも取り組んでいただきたい。

**問** 0歳児からの完全保育及び時間延長等保育環境の充実と保育料の減額できないか。

**町長** 未満児保育や特別支援を必要とする幼児の為に保育士を増員する。乳児保育については、将来的には産休明けから保育できるように検討したい。時間延長は職員体制等課題があり今後検討していかなければならない。保育料は国の改革により厳しい財源ではあるが、保育料の軽減や通園費等の補助を行いながら努力している。

**問** 大学生等に対する町の育英資金の増額や貸与条件の拡充を図られたい。

**教育長** 金額的に充分とは思っていないが県等の奨学金とあわせて利用いただきたい。

現状はかなり高い層まで貸付を行っている。増額すれば役立つと思っ

大口 武 議員

# 畜産農家に支援を

町長…町にとって畜産の役割は大きい

## これまでにない経営の厳しさを認識している

**問** 畜産農家は一〇〇%近くが現状は「赤字」と聞いている。町の現状認識と支援策を伺いたい。

**町長** 飼料等の価格高騰が畜産農家の経営を直撃し、極めて厳しい状況であることは認識している。

酪農は、牛乳1キロあたり10円程度の価格引き上げがなければ経営を維持できないとされているが、店頭での10円値上げでは生産者の手取りは3円増とされている。

酪農中堅クラスの試算では生産者手取り3円のアップで100万円の増収になるが、現状は、飼料高騰で250万円、子牛価格の下落で350万円の収入減少、差引き、500万円の所得減になるということである。

このまま飼料価格が高止まりともなれば、更に厳しいことになり、糞尿処理対策、飼料生産、地産地消の拡大も含めて取り組んでいかなければと考えている。

**地域振興課長** 国の対策が発表



牛に責任はないが……

されたが、このまま飼料高騰が続くと容易でない状況になる。価格面での支援は難しいが、防疫など細かな部分でどう対応できるか、検討相談したい。

藤ノ木 浩子 議員

# 病院の再編で地域医療は守るが

町長…経営効率化だけの強調はさけなければ

## 国の病院改革路線は 公立病院つぶしか

**問** 厚労省の誘導で医療保険の療養病床52床を取り入れてきたのに、今度は病床の削減転換を求めるとは無責任だ。県の病床転換意向調査で津南病院はそのまま維持と回答されているが転換の意向は無いと受け止めていいのか。

**町長** 療養病床は今後も必要な機能であるが、診療報酬改定の動向をみながら、最終判断をしなければならぬ。

**問** 総務省が示した公立病院改革ガイドラインは、経営の効率化、病院の再編、ネットワーク化を進める改革プラン策定を求めている。これで地域医療を守れるのか。

**町長** 自治体病院は、地域医療確保のために重要な役割を果たしている。その役割を担う津南病院においては、急性期疾患は十日町病院で、内科系疾患や急性期を過ぎた入院疾患は津南病院で対応する基本は変わらない。ガイドラインの経営の効率化だけを強調するの



存続できるか療養病床

は避けなければならないが、病院の現状は厳しく自治体病院の75%が赤字決算となっている。現状維持だけで済まされないのも事実だが住民が必要とする医療機能、財源をどう確保するか課題である。町立病院の医師の継続を図る強い思いに変わりはない。

大島 知美 議員

# どうなる、津南のゆくえ

町長…変化に対する取り組みが必要

## なかなか始まらない 変化に対する対応

**問** 減反政策の中で、売れる米は減反枠の中で「栽培できる」という制度があるが、その制度の推進はどうか。

**地域振興課長** 早急ではないが、いずれ取り組む必要があると思う。

**問** 実需業者、販売業者、集荷業者等を含めた、仮称「減反面積削減委員会」の早期取り組みを提案する。

津南野菜は消費地での評価が高く、品物が足りないという状況にある。その一方津南町では農地が余る。その原因はどこにあると思

**地域振興課長** 急にそのような

状況になったと思わないが畑作は手間がかかり、儲からないというようなことから、後継者不足、高齢化が進んできた。

**問** 儲からない要因のひとつとして、連作障害が考えられる。その輪作体系を考えなくて、これからやっていけるのか。



老舗旅館が消えた(どうなる津南)

**農業委員会** 生産者のなかでも必要性をいわれている。

**地域振興課長** 輪作の推進は農協が中心となった取り組みをしていただきたい。農協へ話はする。



### 平成19年度 最終補正予算

# 一般会計 56億8,398万2千円



雪解けが待ちどおしい津南原小グラウンド

一般会計補正予算は、5,799万8千円を追加し総額56億8,398万2千円となりました。

歳入では地方交付税が確定し、1億5,192万7千円の増額。国庫及び県支出金、諸収入が増額されました。財政調整基金等より繰り入れを予定していた金額（1億3,355万8千円）を各基金に戻しました。

#### 主な補正金額

- 除雪対策費増 795万3千円
- 広域消防費増 249万5千円
- 津南病院運営費補助金増 5,659万7千円
- 全国中学校スキー大会等遠征費補助 168万3千円
- 小学校グラウンド除雪機借上料増 97万1千円

## 特別会計

国民健康保険	11億6,452万4千円
老人保健	16億8,141万3千円
介護保険	11億5,694万7千円
簡易水道	1億5,667万4千円
下水道	9億5,672万6千円
集落排水	2億8,393万8千円
病院事業	19億9,595万4千円

#### 国民健康保険会計

歳入歳出それぞれ276万6千円の追加

#### 老人保健特別会計

増減なし  
医療諸費の中での入れ替え

#### 介護保険特別会計

1,992万9千円の減  
介護予防サービス等において保険者負担金の減額等

#### 簡易水道特別会計

歳入歳出それぞれ318万8千円の増

#### 下水道事業特別会計

増減なし  
農業集落排水事業特別会計増減なし

#### 病院事業会計

医業収益7,378万5千円の減、事業費用773万8千円の増

滝澤 茂光 議員

## 苗場山麓開発畑を水田化地力回復を

### 町長..町としての立場では難しい問題である

#### 畑の水田化で地力回復を

**問** 津南町の畑作は主として苗場山麓開発地で灌漑施設を有している。主力野菜であるにんじんやトマトは連作障害等もあり、生産力も落ちている。水を張ることににより連作障害を解消できることが実証されている。



連作障害をどう克服するか津南野菜

世界中でCO<sub>2</sub>削減に向けて動くなか、飼料の高騰で苦しむ畜産経営。灌漑施設の整った開発畑を水田利用により飼料稲の栽培や稲原料バイオエタノールの生産等と畑作の交互利用により、互換性をもたせた活用で連作障害を防ぐ可能性を追求し、研究すべきと思うが。

**町長** 自給率39%の日本、国は抜本的な農政改革をすべきであり、お互いの知恵を出し合いながら、行政のみならず、自らも方法を見出していく強い意志を求めたい。  
**副町長** 現状では、水田化は無理である。

#### 深刻な担い手農家の減少をどうする

**問** 深刻な担い手農家の減少をどのような形で解消していくのか。提案として、受け入れた後も問題であるので、離農された優秀な農家を中心として、基本的な面を指導するシステムを構築されたい。

**町長** 新規就農者の受け入れを行っているところであり、更には、団塊の世代等の受け入れも積極的に進めてまいりたい。

●長い間ごろうさまでした。これからもお元気で……



### お世話になりました

議会事務局 桑原 吉子

議会事務局を最後に退職することになりました。議員の皆様との熱心な議論に接することができ、貴重な体験をさせていただきました。地方分権、少子高齢化など、さまざまな課題の中で議会の果たす役割が重要となっており、住民協働の町づくり、今後とも津南町議会が更なる、ご活躍をされることを、ご祈念申し上げ、退職のあいさつと致します。

### 新潟県立津南高等学校 歴史の幕を閉じる

昭和23年津南高校の基礎となる県立十日町高校下船渡分校が開校し今年で60年。去る3月7日、在校生のいない体育館で保護者に見守られ、津南高校最後の卒業式が行われました。94名の最後の卒業生は、それぞれの思い出を胸に校舎を後にしました。57回目の卒業式、ここで学んだ人は総勢9,943名、数多くの生徒が巣立っていきましました。

戦後の厳しい状況の中、地域の皆さんの熱意と情熱で開校した津南高校、長い歴史の幕を閉じるが当時の思いは、そのまま中高一貫校の津南中等教育学校に引き継がれることでしょうか。ありがとうございました。

さようなら津南高校



94名最後の卒業式

# 条例制定 改正 廃止

本定例会において、津南町ふるさと支援まちづくり寄付金や職員の給与、勤務時間や新たに後期高齢者医療に関する15項目の制定・改正が議案提出され、可決されました。

◆津南町ふるさと支援まちづくり寄附条例の制定  
津南町のまちづくりに賛同する人々の寄附金を財源とするための条例を制定しました。

◆津南町分担金条例の一部を改正する条例の制定  
県営土地改良事業、移動通信用鉄塔施設整備事業が加わりました。

◆津南町手数料条例の一部を改正する条例の制定  
火薬取締法の規定に基づく煙火の消費許可申請が町で行われることになりました。

◆津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定  
勤務時間の条例条項等の改正、勤勉手当の計算数値の改正、療養休暇の期間等の改正。

◆津南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定  
育児短時間勤務職員の勤務制度等や休息時間を廃止し、勤務時間の改正。

◆津南町職員の育児休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定  
少子化対策が求められる中、公務においても、長期間にわたる育児と仕事の両立ができるように制度改正。

◆政治倫理の確立のための津南町長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定

◆津南町子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定  
保育園に入所していない乳幼児の一時預かりやその使用料など。

◆津南町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定  
「老人保健法」に関する記述を「高齢者の医療の確保に関する法律」にあわせた内容に改めるなど。

◆津南町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定  
「老人保健法」に関する記述を「高齢者の医療の確保に関する法律」にあわせた内容に改めるなど。

◆津南町老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定  
「老人保健法」に関する記述を「高齢者の医療の確保に関する法律」にあわせた内容に改めるなど。

◆津南町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定  
「老人保健法」に関する記述を「高齢者の医療の確保に関する法律」にあわせた内容に改めるなど。

◆津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定  
述を「高齢者の医療の確保に関する法律」にあわせた内容に改めるなど。

◆津南町後期高齢者医療に関する条例の制定  
町が行う後期高齢者医療の事務や保険料、雑則、罰則など。

◆津南町後期高齢者医療特別会計設置条例の制定



津南町の次代を担う子どもたち

## 請願 陳情 意見書

# 意見書3件を国県に提出

本定例会において、請願3件、陳情3件が各委員会に付託され、3件が採択され意見書をそれぞれ提出しました。

■米価の安定と生産調整に関する意見書

提出先  
内閣総理大臣  
農林水産大臣

要旨  
自給率の低い作物の生産拡大に役立つよう、万全な支援措置による誘導策に転換すること。  
備蓄米の主食用売却の棚上げを継続し、緊急時以外に放出しないこと。

■十日町高校定時制の存続を求める意見書

提出先  
新潟県知事  
新潟県教育委員会委員長

要旨  
住民の安全と暮らしに直結した国の地方機関を統廃合することの見直しを求める意見書

提出先  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
行革担当大臣

要旨  
住民財産の保全、雇用の創出と安定など、重要な役割を担っている地方整備局、地方運輸局、労働局（公共職業安定所、労働基準監督署）、地方法務局などの地方移譲による統廃合を見直し、住民サービスの引き下げを行わないこと。



十日町高校定時制存続の重要性を町長に訴える



農業立町の根幹はやはり魚沼コシヒカリ

■健全に運営されている自主共済を保険業法の適用除外にすることを求める陳情

不採択

■「鳥獣被害防止特措法」関連予算算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情

不採択



## 「幸せに思うこと」

立石 鈴木 祐介さん



新規就農生として津南町に定住してかれこれ8年、農業についてはもちろん、日々の暮らしや育児等々、地域の皆さんに沢山のご支援を頂いてきました。こうして家族と友人と近所のみなさんの笑顔に囲まれていられることは、本当に幸せなことです。そして、この町は8年前も今も変わらず魅力的です。

東京のサラリーマン家庭で生まれ育った私には、こちらでの「肉

と魚以外は自分のうちか近所（または山）でできたもの」という毎日の食卓は、知識として知っていても、衝撃的でした。（東京では食卓の上は全てスーパーで買ったものでした）身土不二やら地産地消やらと論ずるよりも、外国産の食品の危険性にヤジを飛ばすよりも、自分の身体がこの食事こそが本物なのだと伝えてきます。この感覚を子供たちに伝えることこそ、最高の食育でしょう。

## 「裏方・表方・主役」

米原 大口 友一さん



何かひとつの事（年中行事・各種大会等）を行う場合、必ずといって三つの役割分担が必要となる。特に裏方の仕事は表立たないで実質的な仕事が多い。いわば、舞台裏である。そんな裏方も表方もひとつの事をやり遂げ、成功させるために皆それぞれ主役のごとく話し、行動するから実に面白いし、頼もしい。毎日の生活の場（家庭）の中でも、ちゃんと誰かが裏方、表方、主役の役目を果たしている。皆さん方はどの役柄？。来年マウンテ

ンパーク津南スキー場で開催される国体バイアスロン競技大会に何かと二年も前から多くの方々が着々と準備に追われている。大会を支える裏方と表方の大きな仕事。関係者のみ知る苦労も、最後は大成功で終わった時点、喜びの味に変換させてくれるでしょう。

議会等で活躍されている議員の方々も主役と表方、裏方の三つの役をこなして、議員活動をやっていると思います。大変なご苦労と察します。



早春の秋山郷猿飛橋にて

木々の芽やふきのとうは雪の消えるのを待って一斉に芽吹きだす。我が町も新年度とともに新しい事業が動き出した。「町政は町民を幸せにするシステムである」小林町長の町是が庁舎内に掲げられた。「健康長寿の町宣言」をし、地域振興課内にグリーンツーリズム推進室を設け森林セラピー基地の活用と都市との交流を図り、津南型滞在療養ツアーなど計画し町の交流人口を増やし、ゆくゆくは町の活性化とともに人口増加につなげたい。「ふるさと納税制度」を条例として定めた。この町から都会に出ている人に津南町の進展のために寄附をお願いするのが目的である。町民各位からも多方面にこのことを発信して欲しい。（勝）

編集後記

